



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
(コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 専務取締役 矢羽田 弘
(TEL. 0 9 2 - 4 3 7 - 8 9 4 4)

(訂正) 「平成 27 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 27 年 8 月 10 日に開示いたしました「平成 27 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

訂正内容と理由

「平成 27 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、平成 29 年 6 月期決算作業の過程において、「その他」の区分のセグメントにて記載しておりました「メディカルサービス事業」は報告セグメントに該当することが判明したため、記載内容の一部訂正を行うものであります。

なお、訂正箇所は _____ を付しております。

【訂正箇所】添付資料 3 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

<訂正前>

●その他事業

その他事業につきましては、広告事業、メディカルサービス事業等の新規事業は 概ね堅調に推移いたしました。警備事業におきましても、駐車場警備を中心に、契約を積み重ねてまいりました。

以上の結果、売上高 258,981千円(前年同期比 73.7%増)、営業損失 12,500千円(前年同期は 36,405千円の営業損失)となりました。

②次連結会計年度の見通し

次連結会計年度につきましては、駐車場事業におきましては、当連結会計年度において、徹底的に実施いたしました既存駐車場の活性化及び不採算駐車場のリストラ等の効果により、更なる収益の向上を見込んでおります。また、既存駐車場の活性化及び不採算駐車場のリストラが一巡したことにより、次連結会計年度は新規駐車場の開発営業に最優先で取り組み、事業規模拡大に寄与できる駐車場の確保を図ってまいります。

不動産等事業におきましては、新築マンション3棟「トラスト三原ネクサージュ(広島県三原市、60戸、平成27年7月竣工)」、「トラストネクサス長府侍町(山口県下関市、36戸、平成27年7月竣工)」、「トラストネクサス宇部黒石(山口県宇部市、62戸、平成28年4月竣工予定)」の竣工を予定しております。当連結会計年度竣工物件40戸と合わせ、販売代理会社との連携強化を図り、販売を促進してまいります。

ウォーター事業におきましては、今後のグループの収益事業に拡大、発展させるために、引き続き広告宣伝費等を積極的に投入してまいります。次連結会計年度には黒字に転換する見込みとなっております。

アミューズメント事業におきましては、平成27年4月にオープンした温浴施設「和楽の湯 下関せいりゅう(山口県下関市)」の収益拡大を中心に改善を図り、次連結会計年度には黒字に転換する見込みとなっております。

また、その他事業におきましては、既存事業であります、広告事業、メディカルサービス事業、警備事業等の収益向上を目指し、事業展開を行ってまいります。また、実質的に次連結会計年度より、RV車の製造・販売事業を開始、収益確保を図ってまいります。

以上のことから、次連結会計年度の業績につきましては、売上高 18,000 百万円（前年同期比 43.0%増）、営業利益 950 百万円（前年同期は 15,415 千円の営業損失）、経常利益 750 百万円（前年同期は 225,351 千円の経常損失）、当期純利益 390 百万円（前年同期は 246,601 千円の当期純損失）を見込んでおります。

<訂正後>

●メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ（北九州市小倉北区）」を増床し、賃貸収入が増加いたしました。また、早期収益化に向けその他営業活動に注力いたしました。

以上の結果、売上高 52,600 千円（前年同期比 1,194.1%増）、営業損失 2,357 千円（前年同期は 1,523 千円の営業損失）となりました。

●その他事業

その他事業につきましては、広告事業等の新規事業は 早期収益化に向け営業活動に注力いたしました。警備事業におきましても、駐車場警備を中心に、契約を積み重ねてまいりました。

以上の結果、売上高 206,381千円（前年同期比 42.3%増）、営業損失 10,142千円（前年同期は 34,882千円の営業損失）となりました。

②次連結会計年度の見通し

次連結会計年度につきましては、駐車場事業におきましては、当連結会計年度において、徹底的に実施いたしました既存駐車場の活性化及び不採算駐車場のリストラ等の効果により、更なる収益の向上を見込んでおります。また、既存駐車場の活性化及び不採算駐車場のリストラが一巡したことにより、次連結会計年度は新規駐車場の開発営業に最優先で取り組み、事業規模拡大に寄与できる駐車場の確保を図ってまいります。

不動産等事業におきましては、新築マンション3棟「トラスト三原ネクサージュ（広島県三原市、60戸、平成27年7月竣工）」、「トラストネクサス長府侍町（山口県下関市、36戸、平成27年7月竣工）」、「トラストネクサス宇部黒石（山口県宇部市、62戸、平成28年4月竣工予定）」の竣工を予定しております。当連結会計年度竣工物件40戸と合わせ、販売代理会社との連携強化を図り、販売を促進してまいります。

ウォーター事業におきましては、今後のグループの収益事業に拡大、発展させるために、引き続き広告宣伝費等を積極的に投入してまいります。次連結会計年度には黒字に転換する見込みとなっております。

アミューズメント事業におきましては、平成27年4月にオープンした温浴施設「和楽の湯 下関せいりゅう（山口県下関市）」の収益拡大を中心に改善を図り、次連結会計年度には黒字に転換する見込みとなっております。

メディカルサービス事業におきましては、既存の賃貸施設であります「介護老人保健施設みやこ」からの賃貸収入を中心に、平成27年11月に開院予定であります「福岡信和病院」を加え、更なる収益の拡大を見込んでおります。

また、その他事業におきましては、既存事業であります、広告事業、警備事業等の収益向上を目指し、事業展開を行ってまいります。また、実質的に次連結会計年度より、RV車の製造・販売事業を開始、収益確保を図ってまいります。

以上のことから、次連結会計年度の業績につきましては、売上高 18,000 百万円（前年同期比 43.0%増）、営業利益 950 百万円（前年同期は 15,415 千円の営業損失）、経常利益 750 百万円（前年同期は 225,351 千円の経常損失）、当期純利益 390 百万円（前年同期は 246,601 千円の当期純損失）を見込んでおります。

【訂正箇所】添付資料 10ページ

2. 企業集団の状況

<訂正前>

(5) その他事業について

トラストビジョン株式会社においては、大型ビジョンの運営、テレビ番組の運営及び広告事業を行っております。また、トラストパトロール株式会社においては、駐車場事業に付随して発生する機械警備及び交通誘導警備等の警備事業を行っております。さらに、トラストメディカルサポート株式会社及びメディカルアライアンス合同会社においては医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を行っており、安全・安心な「医療設備」を提供しております。

また、キャンピングカーの製造販売を行う株式会社RVトラストの全株式を新たに取得し、同社を子会社化しております。

<訂正後>

(5) メディカルサービス事業について

連結子会社であるトラストメディカルサポート株式会社及びメディカルアライアンス合同会社においては、医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を行っており、安全・安心な「医療設備」を提供しております。

(6) その他事業について

トラストビジョン株式会社においては、大型ビジョンの運営、テレビ番組の運営及び広告事業を行っております。また、トラストパトロール株式会社においては、駐車場事業に付随して発生する機械警備及び交通誘導警備等の警備事業を行っております。

また、キャンピングカーの製造販売を行う株式会社RVトラストの全株式を新たに取得し、同社を子会社化しております。

【訂正箇所】添付資料 29 ページ

5. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

<訂正前>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務及び不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品の販売を主とした「不動産等事業」、また、水素水の製造、販売を主とした「ウォーター事業」、温浴施設、ゴルフ練習場の運営を主とした「アミューズメント事業」の4つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度より、前連結会計年度において「その他」に含まれていた「ウォーター事業」と「アミューズメント事業」について金額的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成 25 年 7 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	ウオーター 事業	アミューズ メント事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,989,210	5,954,912	143,588	133,175	12,220,885	149,137	12,370,023	—	12,370,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,885	14,230	581	—	17,697	40,392	58,089	△58,089	—
計	5,992,096	5,969,142	144,169	133,175	12,238,583	189,529	12,428,112	△58,089	12,370,023
セグメント利益又は損失 (△)	91,079	721,583	△57,467	△29,746	725,449	△36,405	689,043	△1,216	687,827
セグメント資産	5,745,772	3,108,908	337,368	855,215	10,047,264	779,370	10,826,635	2,027,301	12,853,937
その他の項目									
減価償却費	302,104	69,057	99	20,104	391,367	11,338	402,705	2,243	404,949
のれん償却額	52,372	—	4,166	10,599	67,138	—	67,138	—	67,138
減損損失	124,376	5,477	—	—	129,854	—	129,854	—	129,854
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	3,729,723	347,117	247,501	813,459	5,137,801	639,501	5,777,303	4,300	5,781,603

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディアカルサービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益		(単位：千円)
		前連結会計年度
セグメント間取引消去		205,321
全社費用（注）		△208,010
棚卸資産等の調整額		1,472
合計		△1,216

（注）全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産		(単位：千円)
		前連結会計年度
全社資産		2,049,166
セグメント間取引消去		△21,864
合計		2,027,301

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成 26 年 7 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント					計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業						
売上高										
外部顧客への売上高	6,780,133	3,728,183	1,190,234	626,884	12,325,435	258,981	12,584,416	—	12,584,416	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,599	25,267	934	1,098	30,900	59,493	90,393	△90,393	—	
計	6,783,732	3,753,451	1,191,168	627,982	12,356,335	318,475	12,674,810	△90,393	12,584,416	
セグメント利益又は損失 (△)	455,536	△4,827	△338,850	△75,962	35,894	△12,500	23,394	△38,809	△15,415	
セグメント資産	2,377,471	8,385,232	625,665	1,343,891	12,732,261	1,984,826	14,717,087	2,417,709	17,134,796	
その他の項目										
減価償却費	342,430	67,460	15,983	93,336	519,211	38,112	557,324	4,794	562,118	
のれん償却額	36,458	—	16,666	37,362	90,487	938	91,426	—	91,426	
減損損失	49,280	—	—	—	49,280	3,965	53,245	—	53,245	
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,740,620	22,053	135,846	602,945	2,501,465	708,524	3,209,989	51,641	3,261,631	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業、RV事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)	
	当連結会計年度
セグメント間取引消去	318,638
全社費用 (注)	△357,390
棚卸資産等の調整額	△57
合計	△38,809

(注) 全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)	
	当連結会計年度
全社資産	2,465,196
セグメント間取引消去	△47,487
合計	2,417,709

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

<訂正後>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務及び不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品の販売を主とした「不動産等事業」、また、水素水の製造、販売を主とした「ウォーター事業」、温浴施設、ゴルフ練習場の運営を主とした「アミューズメント事業」、医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を主とした「メディカルサービス事業」の5つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度より、前連結会計年度において「その他」に含まれていた「ウォーター事業」、「アミューズメント事業」及び「メディカルサービス事業」について金額的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	メディカルサービス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	5,989,210	5,954,912	143,588	133,175	4,064	12,224,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,885	14,230	581	—	—	17,697
計	5,992,096	5,969,142	144,169	133,175	4,064	12,242,647
セグメント利益又は損失(△)	91,079	721,583	△57,467	△29,746	△1,523	723,925
セグメント資産	5,745,772	3,108,908	337,368	855,215	724,401	10,771,666
その他の項目						
減価償却費	302,104	69,057	99	20,104	4,047	395,414
のれん償却額	52,372	—	4,166	10,599	—	67,138
減損損失	124,376	5,477	—	—	—	129,854
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,729,723	347,117	247,501	813,459	609,407	5,747,209

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	145,072	12,370,023	—	12,370,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,392	58,089	△58,089	—
計	185,464	12,428,112	△58,089	12,370,023
セグメント利益又は損失(△)	△34,882	689,043	△1,216	687,827
セグメント資産	54,969	10,826,635	2,027,301	12,853,937
その他の項目				
減価償却費	7,290	402,705	2,243	404,949
のれん償却額	—	67,138	—	67,138
減損損失	—	129,854	—	129,854
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	30,094	5,777,303	4,300	5,781,603

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	前連結会計年度
セグメント間取引消去	205,321
全社費用(注)	△208,010
棚卸資産等の調整額	1,472
合計	△1,216

(注) 全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

セグメント資産

(単位：千円)

	前連結会計年度
全社資産	2,049,166
セグメント間取引消去	△21,864
合計	2,027,301

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自平成26年7月1日至平成27年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	メディカルサービス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	6,780,133	3,728,183	1,190,234	626,884	52,600	12,378,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,599	25,267	934	1,098	—	30,900
計	6,783,732	3,753,451	1,191,168	627,982	52,600	12,408,935
セグメント利益又は損失(△)	455,536	△4,827	△338,850	△75,962	△2,357	33,537
セグメント資産	2,377,471	8,385,232	625,665	1,343,891	1,636,013	14,368,274
その他の項目						
減価償却費	342,430	67,460	15,983	93,336	32,019	551,231
のれん償却額	36,458	—	16,666	37,362	—	90,487
減損損失	49,280	—	—	—	—	49,280
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,740,620	22,053	135,846	602,945	478,743	2,980,208

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	連結財務諸表計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	206,381	12,584,416	—	12,584,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	59,493	90,393	△90,393	—
計	265,875	12,674,810	△90,393	12,584,416
セグメント利益又は損失(△)	△10,142	23,394	△38,809	△15,415
セグメント資産	348,812	14,717,087	2,417,709	17,134,796
その他の項目				
減価償却費	6,092	557,324	4,794	562,118
のれん償却額	938	91,426	—	91,426
減損損失	3,965	53,245	—	53,245
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	229,780	3,209,989	51,641	3,261,631

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、RV事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当連結会計年度
セグメント間取引消去	318,638
全社費用(注)	△357,390
棚卸資産等の調整額	△57
合計	△38,809

(注) 全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

セグメント資産

(単位：千円)

	当連結会計年度
全社資産	2,465,196
セグメント間取引消去	△47,487
合計	2,417,709

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。